熊本市SDGs未来都市計画(2022~2024)(案)について

1 経過

令和3年第四回定例会	素案の報告
令和3年12月27日 ～令和4年1月26日	パブリックコメントによる意見募集
令和4年第一回定例会	パブリックコメントの結果報告

2 パブリックコメントの実施概要

(1) 募集期間

令和3年12月27日 ～ 令和4年1月26日

(2) 結果公表

令和4年2月21日 ～ 令和4年3月22日

3 パブリックコメントで提出された意見と対応

(1) 意見の提出件数

6件

(2) 意見に対する対応

分類		対応の内容	件数
対応1	補足修正	ご意見を踏まえて素案を補足修正または追加記載したもの	2
対応2	既記載	既にご意見の趣旨、考え方を盛り込んでいる、あるいは同種の記載をしているもの	0
対応3	説明・理解	市としての考えを説明し、ご理解いただくもの	3
対応4	事業参考	素案には盛り込めないが、事業実施段階で考慮すべき事として今後の参考とするもの	1
対応5	その他	素案に対する意見ではないが、意見として伺ったもの	0
合 計			6

(3) 意見と対応

次ページ以降参照

提出されたご意見とそれに対する本市の考え方（熊本市SDGs未来都市計画（2022～2024））

※対応内訳

【対応1（補足修正）】ご意見を踏まえて素案を補足修正または追加記載したもの

【対応2（既記載）】既にご意見の趣旨、考え方を盛り込んでいる、あるいは同種の記載をしているもの

【対応3（説明・理解）】市としての考えを説明し、ご理解いただくもの

【対応4（事業参考）】素案には盛り込めないが、事業実施段階で考慮すべき事として今後の参考とするもの

【対応5（その他）】素案に対する意見ではないが、意見として伺ったもの

番号	項目	意見内容	本市の考え方	対応内訳※
1		全般を通じて、環境左翼思想に引きずられた内容となっており、熊本市の経済発展に寄与する内容となっていない。持続可能なまちづくりというが熊本市を経済的に発展させることが市役所の仕事であり、SDGsを理由に経済活動を冷やすような、ブレーキをかけるような施策には反対である。市政（経済）発展の方向に転換した内容としてほしい。	SDGsの17ゴールは、相互に関連し合っており、地球温暖化などの環境問題、貧困などの社会問題、地域経済の活性化などの経済問題を、同時に解決していく必要があると考えています。 本市としては、SDGsの理念を踏まえた市政運営を行うことで、ご指摘の経済面の取組も含めた3側面の様々な社会課題の解決に取り組んでまいります。	対応3
2		随所に地球温暖化やら二酸化炭素排出削減の記載があるが、地球温暖化は本当にしているのか、その原因を二酸化炭素の排出と決めつけたような記載があるが、いずれも科学的根拠はあるのか。科学的に証明されていないことをもとに計画を策定することはそもそもおかしい。抜本的な見直しが必要と思う。	国は令和2年10月「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする脱炭素社会の実現を目指すこと」を宣言しました。 本市としても、地域から地球温暖化の原因となる温室効果ガスの抑制に向けた取組を進めていく必要があると考えています。 そこで、令和3年3月に近隣市町村と「熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画」を策定しており、この計画に基づいた取組を進めてまいります。	対応3
3	素案全体に関すること	そもそもこの計画必要なのではないでしょうか。既存の取り組みを国から言われるままに整理分類しなおすだけに見えます。貴重な職員のマンパワーをこんなことに使用しないでください。また、この計画ができれば、これによってまた職員のマンパワーが浪費され、負の連鎖が始まります。したがって計画策定には反対です。	本市は「SDGs未来都市」として、本市における経済面・社会面・環境面の様々な地域課題の解決はもとより、国際社会の一員としてのグローバルな視点を持ちながら、あらゆる施策において、SDGsの理念を踏まえ取り組んでいく必要があります。 そこで、本市がSDGsに取り組む意義を改めて明確化するとともに、脱炭素社会の実現へ向けた取組や、本市特有の地域課題である地下水保全対策等を新たに先導的なプロジェクトに位置付け、持続可能なまちづくりへの道筋をさらに確かなものとするため、本計画を策定するものです。	対応3

※対応内訳

【対応1（補足修正）】ご意見を踏まえて素案を補足修正または追加記載したもの

【対応2（既記載）】既にご意見の趣旨、考え方を盛り込んでいる、あるいは同種の記載をしているもの

【対応3（説明・理解）】市としての考えを説明し、ご理解いただくもの

【対応4（事業参考）】素案には盛り込めないが、事業実施段階で考慮すべき事として今後の参考とするもの

【対応5（その他）】素案に対する意見ではないが、意見として伺ったもの

番号	項目	意見内容	本市の考え方	対応内訳※
4		計画の名称がSDGs未来都市計画であるからには、記載のない6つの目標について、計画の盛り込むべきではないでしょうか。	本計画は、SDGs達成に向けた分野横断的な実施計画として位置付けを行っており、3年間の計画期間で、特に優先的に実施するSDGs関連の施策及びゴールを記載しています。 なお、市政全体におけるSDGsとの関連については、第7次総合計画の分野別施策において全17ゴールとの関連付けを行っており、2030年までのゴール達成に向け、市政全体でSDGsを推進しています。	対応4
5	P.12 3-(1) ①地域主義に基づく健康で暮らしやすい生活都市	現状と課題及び取組に以下の視点の追加が必要ではないでしょうか。 ◇ジェンダー平等 ◇外国人対応 ◇パートナーシップでの目標達成（高齢者や障がい者、子ども・子育て世代等を含め多様な属性の全ての人が地域の中で暮らしてゆく社会を目指すために）	ご意見を踏まえ、P12「現状と課題」を以下のとおり修正します。 （旧）健康長寿を目指した都市づくりには、高齢者や障がい者、子ども・子育て世代、被災者などの世代・分野を超えて、誰もが地域の中で共生できるコミュニティづくりが必要である。 （新）健康長寿を目指した都市づくりには、高齢者や障がい者、子ども・子育て世代、 <u>外国人</u> 、被災者などの世代や <u>立場</u> を超えて、 <u>互いに協力しながら</u> 誰もが地域の中で共生できるコミュニティづくりが必要である。	対応1
6	P.15 3-(1) ③震災の経験をいかした防災・減災のまちづくり（主な取組）	発災直後の避難所の確保及びその後の応急住宅の提供、そして恒久的な住まいの確保が必要となります。以下の取組の追記は可能でしょうか。 ・災害の種別に応じた安全な避難所の指定・確保（地震時の液状化想定地域や崖崩壊、隣接建築物等の倒壊危険性の考慮） （洪水時等の浸水地域や崖崩壊危険性の考慮） ・災害後の（建設型・賃貸型）応急住宅の確保準備及び恒久的な住まいの確保支援（建設地の事前選定、所謂みなし仮設住宅の確保に向けた関係団体、関係機関との連携強化）	ご意見を踏まえ、P15「主な取組」に以下を追加します。 （追加内容） ・避難所の確保及び応急住宅の提供等に関する事前準備	対応1